

研究の実施に関する情報公開

広島大学大学院医系科学研究科病理学研究室では、疫学研究倫理審査委員会の承認を得て下記研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年4月1日

研究課題：肺癌の病理診断に有用なマーカー探索に関する研究

■ 研究責任者

教授 武島幸男

■ 研究期間

～2023年3月31日まで

■ 対象者

- **2005年1月から2022年3月までの間に**広島大学病院にて手術あるいは病理解剖を受け、病理組織学的検査にて**「肺癌」と診断された方**。(条件に当てはまる方が全員対象となるわけではありませんので、ご自身が対象となっているか確認されたい方は下記の窓口までお問い合わせください。)

■ 背景

- 肺癌は腺癌、扁平上皮癌、小細胞癌など多くの組織型に分類されていますが、これらは組織型によって治療方法や予後が大きく異なるため、**病理組織学的鑑別診断**がきわめて重要です。
- 肺癌の病理組織学的診断はH&E染色標本の形態像と特殊染色、免疫組織化学的染色の所見を組み合わせで行いますが、従来の方法では組織型の決定が困難な症例も存在します。
- そのため、**より診断精度の高い新たな鑑別診断マーカー**が求められています。

■ 目的と意義

- この研究では、**肺癌の組織型の鑑別に有用な新たなマーカーとなる抗体の開発研究**を行います。
- 本研究の成果により、**肺癌の診断精度の向上**が期待されます。

■ 方法

- まず、当研究室の病理組織診断台帳から、肺癌の患者さんの**「病理番号」**、**「病理組織学的診断」**、**「病理組織学的所見」**の情報のみを抽出し、この情報に基づいて対象とする標本を決定します。

- 次に、各病変のホルマリン固定パラフィン包埋標本を用いて
 - ✓ **FISH (蛍光 in situ ハイブリダイゼーション) 法** : 対象の細胞に特定の遺伝子や染色体の異常が存在するか調べる方法です。
 - ✓ **Real-time RT-PCR (定量的逆転写ポリメラーゼ連鎖反応)** : 細胞内のDNA, RNAを増幅させて発現のレベルを調べる方法です。
 - ✓ **免疫組織化学的染色** : 対象の細胞に特定の蛋白が発現しているかどうかを調べる方法です。
- を行い、肺癌の組織型の鑑別に有用なマーカーとなる抗体を検索します。
- **個人が特定できる情報は解析には用いません。**

■ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科 教授 武島幸男

※ 研究に試料を提供したくない場合は下記窓口にお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。

※ 当研究室が保有する個人情報の開示請求は下記窓口にお申し出ください。

■ 本研究に関する問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

広島大学大学院 医系科学研究科

病理学研究室

助教 櫛谷 桂

734-8551

広島県広島市南区霞 1 - 2 - 3

電話番号 : 082-257-5152

e-mail : kkushi@hiroshima-u.ac.jp